



IMAX CORPORATION

2525 Speakman Drive
Mississauga, Ontario, Canada L5K 1B1
Tel: (905) 403-6500 Fax: (905) 403-6450
www.imax.com

カンフー・パンダ IMAX[®]シアターで好評の内に公開始まる

2008年6月9日カリフォルニア州ロサンゼルスー

IMAX とドリームワークス・アニメーション SKG (NASDAQ:IMAX; TSX:IMX) はカンフー・パンダの6月6日(金曜)から8日(日曜)まで週末3日間、IMAX[®]シアターにおける興行成績がかなりの好調であったことを本日発表した。米国内、89のIMAXシアターの平均売上高はおよそ24,000ドルに達した。今後IMAXの海外のIMAXシアターにおいても数週間後から上映が開始され最終的には36IMAXシアターで上映される。

「IMAXシアターでカンフー・パンダが好評をもって上映されたことは、観客が上質のホーム・エンターテインメントを求めていることの証です。」とドリームワークス・アニメーションCEOのジェフリー・カツェンバーグは語った。「IMAXとのビジネス上の関係をこのような良い環境の中で強めてゆくことは、たいへん喜ばしいことです。海外でもこの映画が好評されることを期待しています。」

「ドリームワークス・アニメーションとは5本の映画で契約を結んでいますが、その最初の映画であるカンフー・パンダが公開最初の週末に成功を収めたことは大変嬉しいことです。」とIMAXの共同会長、共同CEOであるリチャード・ゲルフوندとブラッドリー・ウェックスラーは語った。「ドリームワークスの制作する映画はIMAXのフォーマットに大変適したものだという我々の信念は、この成功によってさらに強まりました。カンフー・パンダは大変高い評価を得ており、IMAXシアターで上映される映画を見た観客の皆様にユーモアといろいろなことを考える機会を提供できると信じています。」

「夏の上映予定映画をこのような好成績と好評のうちに開始できて大変嬉しいです。」と、IMAXフィルムエンターテインメント社、会長兼社長のグレッグフォスターは語る。「ドリームワークス・アニメーションの映画は巨大スクリーンに映し出されると、それこそ魔法を生み出します。その魔法を生み出すひとつの役割をしているのがIMAX Experience[®]です。想像力が爆発的にあふれる映画制作会社の生み出したカンフー・パンダのような楽しい映画が、IMAX Experience 化されると観客がどんな反応を示すかを今回の成功は良く語っています。」

IMAX コーポレーション

アイマックス・コーポレーションはDIGITAL 技術と映画フィルム技術に特化した世界をリードするエンターテインメントテクノロジー企業です。世界中のアイマックスシアターネットワークはハリウッドの大作映画を上映する最も重要かつ成功した例になっています。その理由は独自の、IMAX、MAX3D、IMAX DMR テクノロジーを使った世界最高の映画上映技術にあります。IMAX DMRはどのような映画フィルムでもDIGITAL 処理を行うことで最高品質の映像と音質を可能にする革新的なリマスタリング技術です。IMAXブランドは大変すぐれた臨場感豊かな体験ができる事が世界中に知られています。2008年3月31日現在、世界40カ国で298のIMAXシアターが世界39カ国に存在します。

IMAX[®]、IMAX[®] 3D、IMAX DMR[®]、IMAX[®]MPX™、The IMAX Experience[®]はアイマックス・コーポレーションの登録商標です。より詳細な情報をお求めの方は www.imax.com をご覧ください。

このプレスリリースは、経営に関する推測や既存情報にもとづく仮定的な記述を含んでおり、そのような仮定的な記述により明示あるいは暗示された将来の結果が実際の結果と著しく異なることになるようなある程度のリスクと不確定要素を含んでいます。そのような記述に影響する重要な要素には、シアターシステムの納入時期、出荷したシアターシステムの構成、収入を認知するタイミング、フィルム制作や配給契約に関わる経費、上映映画の収益、新規事業や製品の実現性、当年度当社の会計報告、会計報告上内部管理の問題が原因となるリスク、変更後の期日までに報告義務を果たせるか、財務報告書の変更の程度と範囲、NSDAQ への問い合わせ状の回答結果、外国為替や大型映像フォーマット/一般的な商業映画館市場の変動などが含まれます。このような要素やその他のリスクや不確定要素は、2007年12月31日締め年度の当半年次報告書フォーム10-Kや、四半期ごとの報告書、フォーム10-Qで公開されています。

ドリームワークス・アニメーションSKGIについて

ドリームワークス・アニメーションはコンピューター処理による CG やアニメ映画の制作会社。優秀な人材、強固で経験豊かな経営陣、最先端の CG 映画制作技術によってドリームワークス・アニメーションは幅広い観客を対象にした質の高い CG アニメ映画を制作している。今までに劇場公開されたアニメ映画は「シュレック」、「シュレック2」、「シャーク・テール」、「マダガスカル」、「森のリトル・ギャング」、「シュレック3」、「ビー・ムービー」などを含め 15 本になる。ドリームワークス・アニメーションの 2008 年の公開映画は 6 月 6 日公開の「カンファー・パンダ」、11 月 7 日公開の「マダガスカル: *Escape 2 Africa*」、ドリームワークスによるはじめての3D映画「Monsters vs. Aliens」はアメリカ国内では 2009 年 3 月 27 日に公開が予定されている。

このプレスリリースは、1995 年米国私募証券訴訟改革法によって許される範囲での仮定的な記述を含んでいる。仮定的な記述には当社の計画、見込み、戦略、提案、現在及び将来の公開映画の業績に関しての信念や期待、今後の映画に関しての人材、監督、ストーリーやその他の事業が含まれる。またこれらの仮定的な記述は映画業界についての、且つ経営陣が持つ意見や推定の範囲内での現在の予想、推定、見通し、予測に基づいている。これらの記述は将来の実際の業績を保証するものではなくリスクや不確定要素、仮説を含むもので、実際の予測は困難である。経済状態、ビジネス、競合関係、技術または規制法の変化、又ドリームワークス・アニメーションの事業の運営に影響を与える他の不確定要素などにより、実際の業績はこの記述に表されたものとまたは暗示されたものと異なりことがある。これらのリスク、不確定要素には映画に対する観客の受け、限られた映画数の公開が成功するか否か、映画制作とマーケティング費用の上昇、海賊版など映画の著作権侵害行為、急速な技術変化や娯楽の選択の幅が広がったことの影響、専有技術の保護や新技術の増進や開発がある。さらにアニメ映画の開発や制作に関わる不確定要素やリスクによってこの文書に含まれたアニメ映画が遅延する可能性がある。リスク、不確定要素についての更なる記述については証券取引委員会と当社がまとめて提出したレポート、およびフォーム 10-K や、四半期ごとの報告書、フォーム 10-Q で公開されている当社の最新の年次報告書を参照。ドリームワークス・アニメーションは新たな情報、将来の出来事、想定の変化に関わらず、仮定的な記述を更新、改正する義務は無く又その権利を放棄する。

さらに詳しい情報は以下までお問い合わせください。

<p>Media: IMAX Corporation, New York Sarah Gormley 212-821-0155 sgormley@imax.com</p> <p>DreamWorks Animation Jeff Hare 818-695-6055 jeff.hare@dreamworks.com</p> <p>Entertainment Media: Newman & Company, Los Angeles Al Newman 310-278-1560 asn@newman-co.com</p>	<p>Investors: IMAX Corporation – New York Heather Anthony 212-821-0121 hantony@imax.com</p> <p>DreamWorks Animation Rich Sullivan (818) 695-3900 ir@dreamworksanimation.com</p> <p>Business Media: Sloane & Company, New York Whit Clay 212-446-1864 wclay@sloanep.com</p>
---	---

当ニュースリリースは英語版を翻訳したものです。